

1 県民等のアンケートを踏まえたポイント

アンケート結果

計画策定に向けたポイント

1) 県民・企業アンケート〈県民472人、企業438社〉（資料3-1）

○重要だと思う森林の働き（1-1）

- 1位 山崩れや洪水等災害を防止する働き
- 2位 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化防止に貢献する働き
- 3位 雨水を蓄え、豊かな水を育む働き

○森林の現状について（1-2）

- 手入れが行き届いている 17%
- 手入れが行き届いていない 33%
- わからない 47%

造林未済地やナラ枯れ

造林未済地への対応

○現在の森づくり税を活用した取組の重要度・満足度（2-1）

- ・各取組とも重要度は高いものの、満足度はどちらともいえないという評価
- ・重要度は高いが満足度が低い取組は次の2つ
  - ⑤「クマ等の野生動物出現の抑制のために人間の生活圏にあるやぶ化・過密化した森林を整備する取組」
  - ⑩「森林を手入れする人を確保し、育てる取組」

ナラ枯れ被害の予防

○新たに取り組む必要がある項目（2-2）

- 1位 山崩れなどの災害防止のための造林未済地への植栽
- 2位 林業従事者を確保するための取組
- 3位 ナラ枯れ被害等を予防する取組

野生動物の出没抑制

○その他（森づくりへの自由意見）

伐採跡地への植栽や林業従事者の確保、野生動物の出没に関する意見が多いほか、森づくり税やその取組について知らないという意見も多い。

人材の育成（従事者の確保）

2) 市町村意向調査〈25市町村〉（資料3-2）

○森林林業の変化で気になっていること

- ①野生動物の出没、②手入れされていない森林の増加、③ナラ枯れ被害

○森づくり税で実施して欲しい取組

- ①野生動物出没抑制、②伐採跡地への造林、③手入れ不足の森林の整備

森づくり税の認知度向上

3) 森林ボランティア団体アンケート〈48団体〉（資料3-3）

○森づくり税で実施して欲しい取組

- ①伐採跡地への植栽などの森林保全
- ②人材の育成
- ③森づくり税の周知などの普及啓発

## 2 森林・林業の環境をとりまく環境の変化を踏まえたポイント

### 森林・林業をとりまく環境の変化

### 計画策定に向けたポイント

#### ○2050年カーボンニュートラルの実現

政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言した。

その実現に向けては、森林資源の循環利用を確立し、木材利用を推進するとともに森林の若返りを進め、二酸化炭素の吸収量をより向上させることが求められている。

循環利用による  
森林の若返り

#### ○森林環境税及び森林環境譲与税の創設

パリ協定の枠組みの下、温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、森林環境税及び森林環境譲与税が平成31年に創設され、同年に県や市町村に森林環境譲与税が配分されている。

同時に、「森林経営管理法」も施行され、市町村が主体となって森林の整備を進める「森林経営管理制度」がスタートした。

森づくり税と森林環境  
譲与税の調整

#### ○ナラ枯れ被害の拡大

平成18年に県南部で確認されたナラ枯れ被害が、令和2年には県北部まで広がっている。全县に被害が拡大することにより、森林の有する多面的機能の低下や景観の悪化等が懸念されている。

ナラ枯れ被害  
の予防

#### ○素材生産量の増加と再造林の伸び悩み

県内のスギ人工林の多くが利用伐期を迎え、素材生産量は増加しているものの、森林所有者の高齢化や後継者不足等により、伐採後に植林されている森林は約3割であり、植林されない場合は土砂の逶出や保水力の低下により災害リスクが高まる恐れがある。

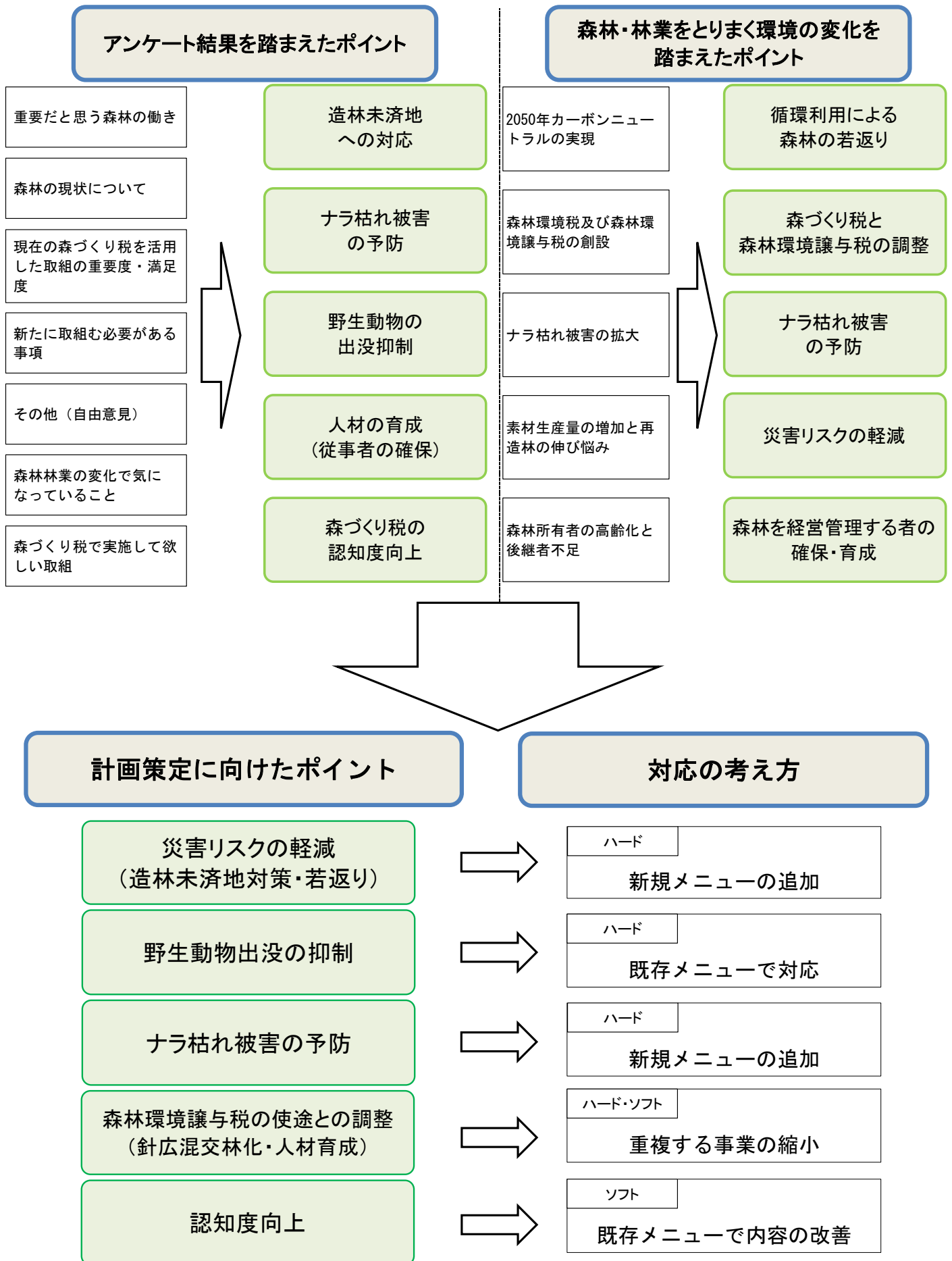
災害リスクの軽減

#### ○森林所有者の高齢化や後継者不足

森林所有者の高齢化が進んでいるほか、後継者が県内に居住していないことなどにより、所有森林を適正に管理することが困難になり、境界不明森林の増加や手入れ不足の森林の増加が懸念されている。

森林を経営管理する  
者の確保・育成

### 3 次期計画策定に向けたポイントと考え方



#### 4 次期計画（第4期5箇年計画）における事業見直しの方向性

事業名		第3期5箇年計画の事業内容	第4期5箇年計画における事業見直しの方向性
水 と 緑 の 森 づ く り 事 業  ( ハ ー ド )	(豊かな森づくり) 豊かな里山林整備事業	①針広混交林化 生育の思わしくないスギ人工林等を公益的機能の高い広葉樹との混交林へ誘導	(縮小を検討) 市町村による森林譲与税の活用状況等を踏まえ、内容等を精査したうえで縮小を検討。
		②広葉樹林再生 過去に損なわれた森林環境を取り戻し、野生動植物などが生息・生育できる生態系の健全性に配慮した広葉樹林に再生	(引き続き実施)
		③緩衝帯等整備 クマ等の野生動物が出没し、人的な被害などの恐れのある森林において、緩衝帯等を整備し、野生動物の出没抑制を図るほか、主要道路や通学路沿い等の藪化・過密化している森林を整備し、森林環境の保全や景観を向上	(引き続き実施)
			(新規メニューの追加) 人工林資源が利用期を迎える中、今後の大規模皆伐の増加を見据え、森林環境の保全と災害発生リスクの低減に繋がる多彩な森づくりのメニューの追加を検討
	(美しい森づくり) マツ林・ナラ林等景観向上事業	○マツ林・ナラ林等の景観対策や事故未然防止対策 松くい虫及びカシノナガキイムシ等により枯れたマツやナラ林等で、景観維持や安全面に支障がある枯損木の伐採と健全化に向けた植栽	(新規メニューの追加) これまでの取組に加え、ナラ枯れ被害が発生し景観が悪化する蓋然性が高いナラ林の若返りを図るメニューの追加を検討。
	(ふれあいの森づくり) 森や木とのふれあい空間整備事業	①ふれあいの森整備 身近な森林等のうち、「森林浴リフレッシュ・健康づくりの森」、「湧水・名水の森」、「森林ボランティアの森」、「学びの森」の4つの視点で、県民が森林とふれあえる「森と水とのふれあい拠点」を整備	(引き続き実施)
		②木育空間整備 木の良さや森林の大切さについて理解を深めるため、公共施設等において、親子で直接木を見て、ふれあえることのできる「木育体験空間」を整備	(縮小を検討) 市町村による森林譲与税の活用状況等を踏まえ、内容等を精査したうえで縮小を検討。

事業名	第3期5箇年計画の事業内容	第4期5箇年計画における事業見直しの方向性
水と緑の森づくり推進事業（ソフト）	①森林ボランティア活動支援 森林ボランティアの森づくり活動や普及啓発活動を支援	(引き続き実施)
	②森づくり県民提案 県民の自由な発想による新しい森づくり活動を支援	(引き続き実施)
	③市町村等の森づくり活動支援 市町村等が地域で行う植樹・育樹等の森づくり活動や、森づくりに関する研修会などの普及啓発活動を支援	(縮小を検討) 市町村による森林譲与税の活用状況等を踏まえ、内容等を精査したうえで縮小を検討。
森林環境教育推進事業	①森林環境学習活動支援 次代を担う児童・生徒等を対象とした森林環境教育活動を支援	(引き続き実施)
	②森林環境学習指導者養成 小・中学校教員や森林ボランティア会員、保育士等を対象とした、森林環境教育を実践できる指導者の養成	(引き続き実施)
	③森づくりの人材育成 林業大学校で森林整備を担う若い人材を育成	(廃止を検討) 森林整備を担う人材育成・確保に関する施策は、森林環境譲与税を主体に実施されていることから、廃止を検討。
普及啓発事業	①普及啓発活動 県民の森林・林業に対する理解を深めるため、「水と緑の森林祭」の開催、「水と緑の森づくり税ホームページ」の運営など、普及啓発活動の実施	(既存メニューの内容改善) 事業実施時におけるのぼり設置の徹底や、SNSによる情報発信など、森づくり税の認知度向上に繋がる手法を工夫・改善。
	②あきた森づくり活動サポートセンターの運営 県民による森林ボランティア活動を推進するため、県民もボランティア活動の取組をサポートするワンストップ窓口「あきた森づくり活動サポートセンター」を運営。	(引き続き実施)
	③水と緑の森づくり基金運営委員会 森づくり税の使途等に県民の意見を反映させるため、民間委員で構成する「秋田県水と緑の森づくり基金運営委員会」を設置し、森づくり税の使途などについて調査・審議。	(引き続き実施)
	④森林環境に関する試験研究 森林環境の調査や事業を効果的に実施するための調査・検証等を実施。	(引き続き実施)

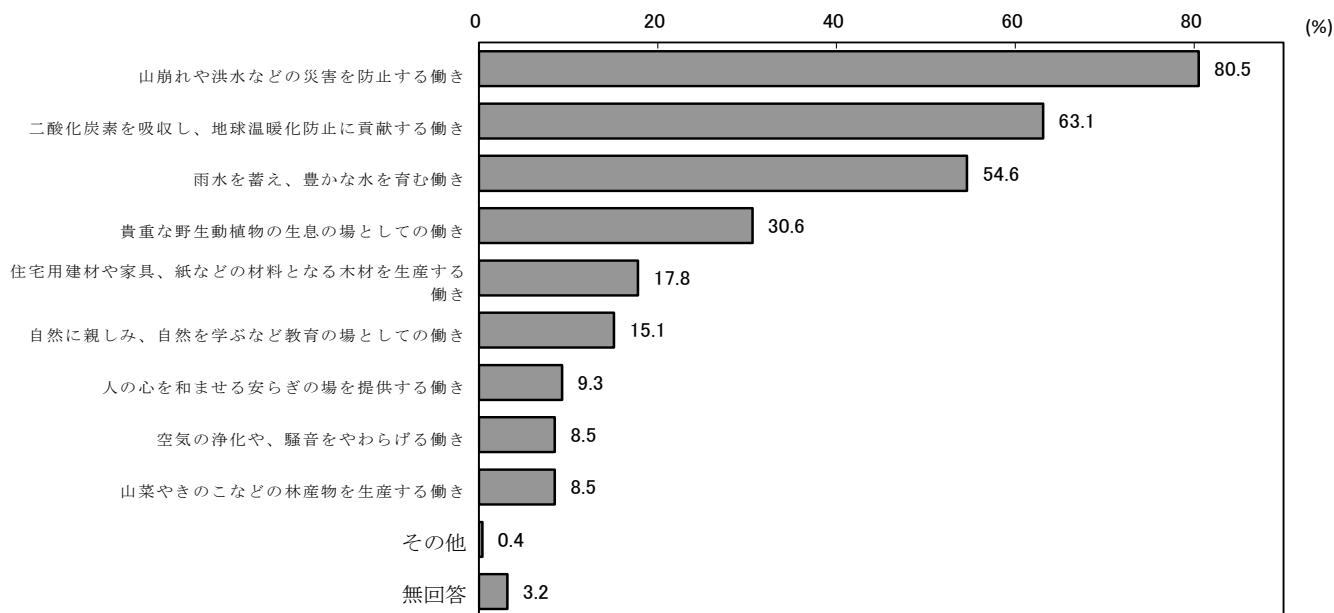
## 県民アンケートの調査結果について

令和3年10月実施 県民 標本数 1000 回答数 472 (回答率 47%)  
 企業 標本数 800 回答数 438 (回答率 55%)

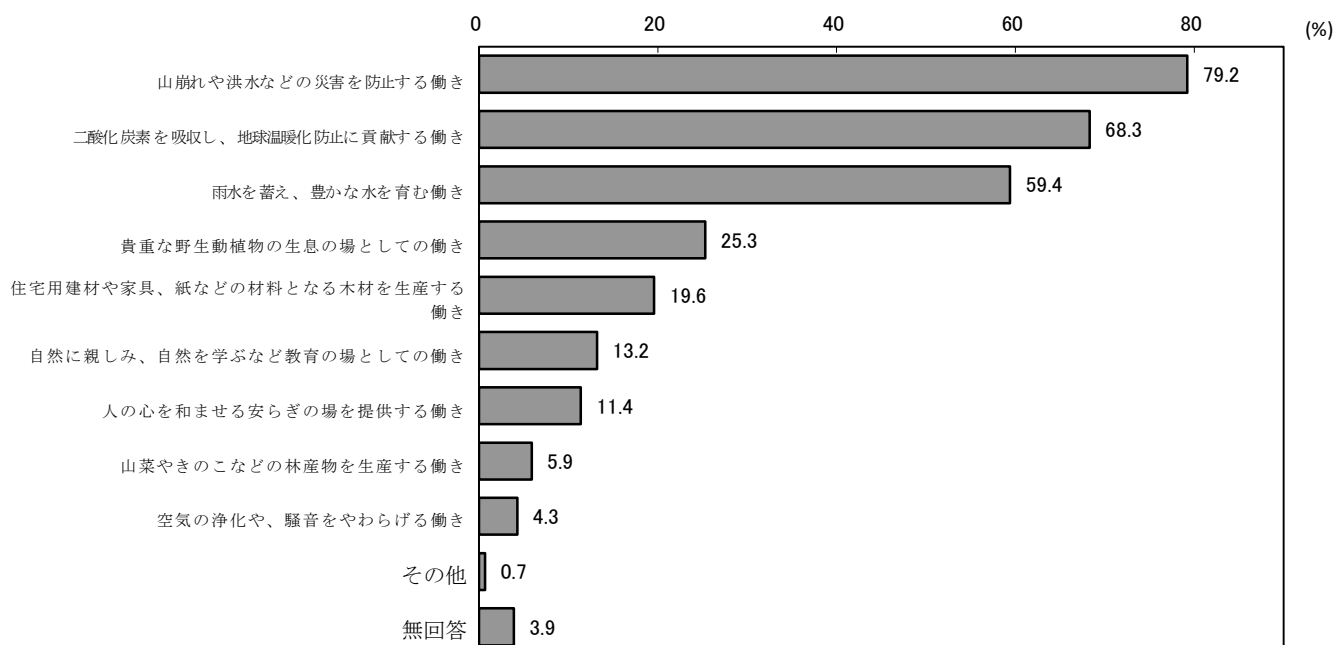
## 1 秋田県の森林について

◆問1 森林には様々な働きがありますが、あなたが重要だと思う働きについてお答えください。  
 (3つ選択)

## 【県民】

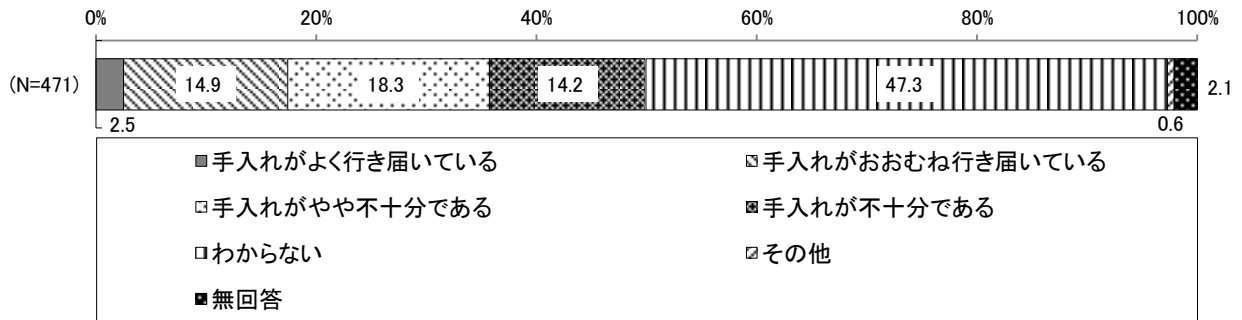


## 【企業】

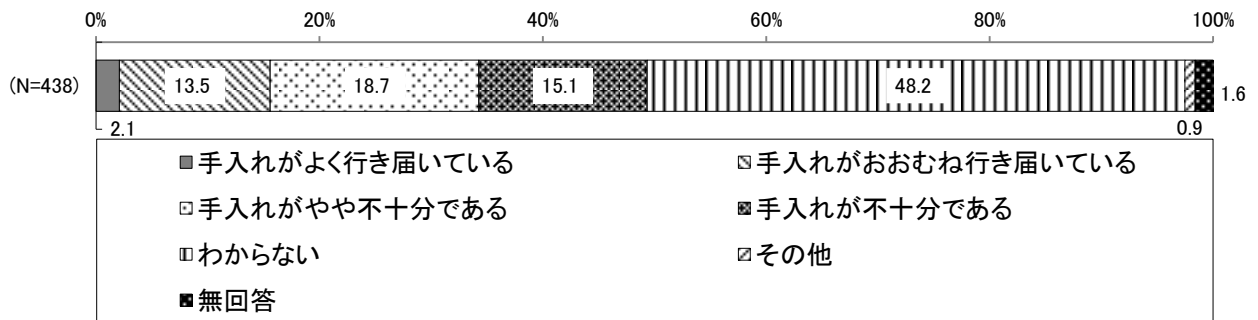


◆問2 あなたは、秋田県の森林の現状についてどう思いますか。

【県民】



【企業】



◆問3 問1で1～4を選んだ方にお尋ねします。あなたは、どのような点で「手入れが行き届いている」、または「手入れが不十分である」と感じていますか。（一部抜粋）

- (1) 問1で「1：手入れがよく行き届いている」を選択した県民の意見について
  - ◆健全な森作りへの取り組みなど将来に向けて真摯な対応をされておられると思います。手入れはよく行き届いていると思われます。
- (2) 問1で「2：手入れがおおむね行き届いている」を選択した県民の意見について
  - ◆大規模な土砂くずれ等、住宅がまきこまれる災害が少ない。
- (3) 問1で「3：手入れがやや不十分である」を選択した県民の意見について
  - ◆伐採量に対して植栽量が少ないため、雨量が急増した際に土砂崩れも被害が高まると考えられる
- (4) 問1で「4：手入れが不十分である」を選択した県民の意見について
  - ◆伐採後、植林されず放置されている山林が多々あるから。
  - ◆ナラ枯れが目立っている、松くい虫被害沿岸部 観光地

## 2 森づくり税を活用した取り組みにおける「重要度」と「満足度」について

◆問1 現在、県では「秋田県水と緑の森づくり税」を活用し、次の取組を行っています。

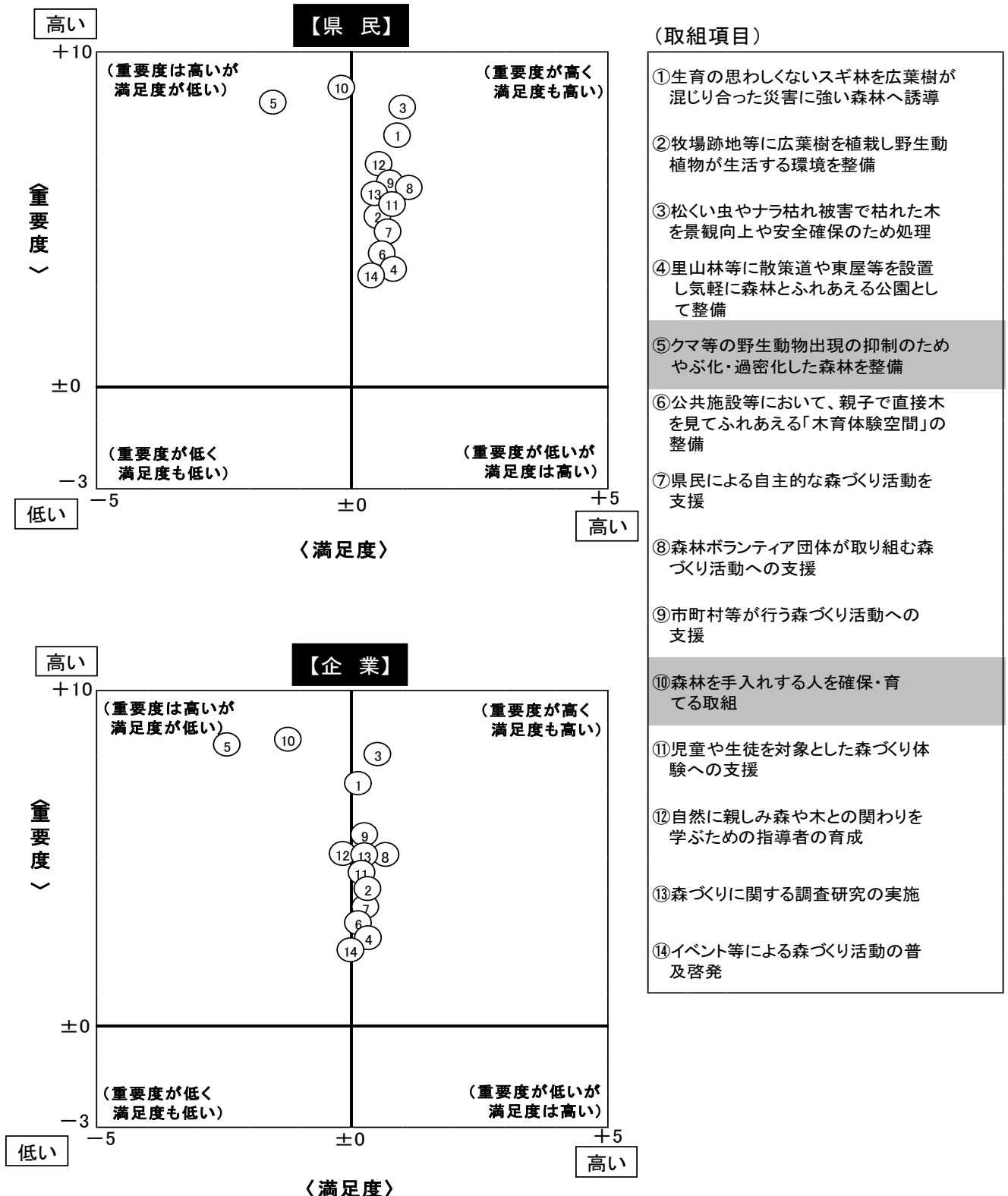
あなたにとってのそれぞれの取組の重要度と、取組に対しての満足度をお答えください。

重要度と満足度について選択肢指数を算出し、「重要度は高いが、満足度は低い」、「重要度が高く、満足度も高い」、「重要度が低く、満足度も低い」、「重要度は低いが、満足度は高い」、の4つにグループ分けした。

※選択肢指数：重要度と満足度について、評価している度合いを得点化するために選択肢指数を算出し、指数0がプラス評価とマイナス評価の分岐点となり、+10に近づくほど評価は高く、-10に近づくほど評価は低いことを表わす。

### ◇ 「重要度」と「満足度」[分布]

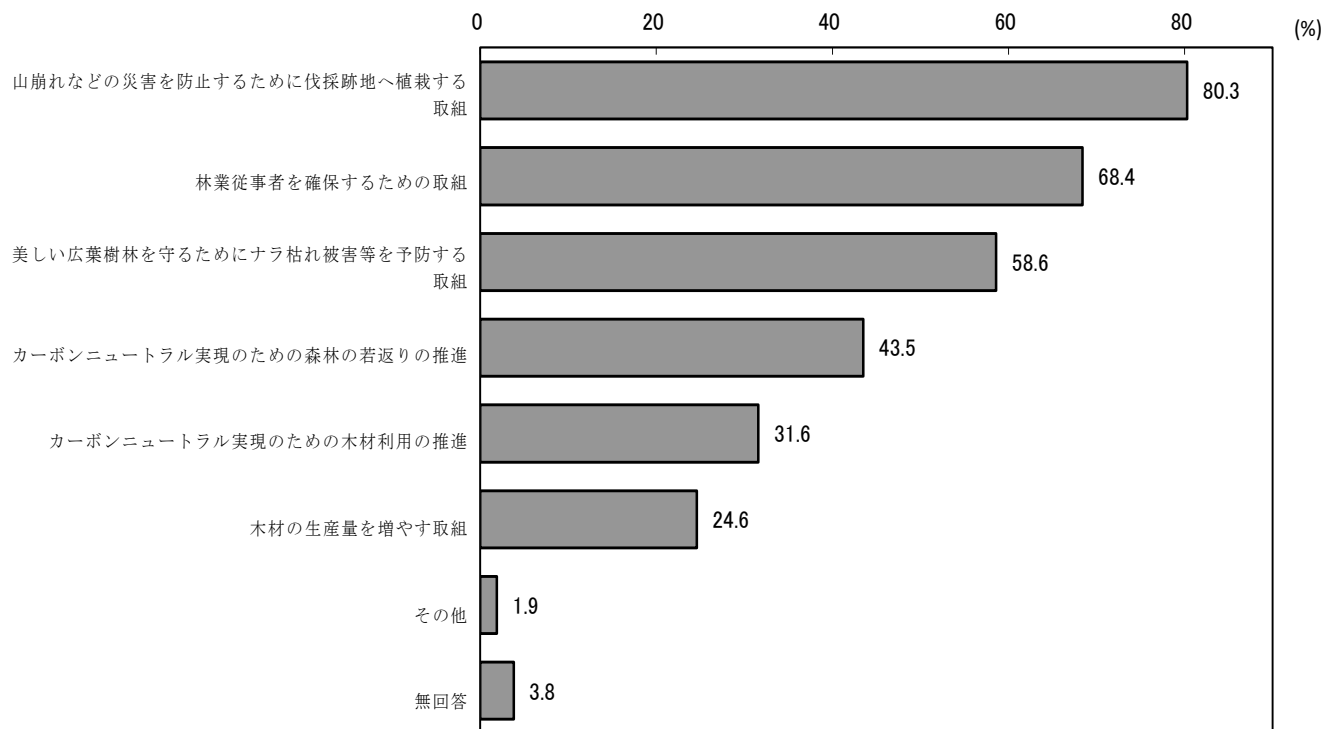
#### ◇ 森づくり税を活用した取組の「重要度」・「満足度」の相関



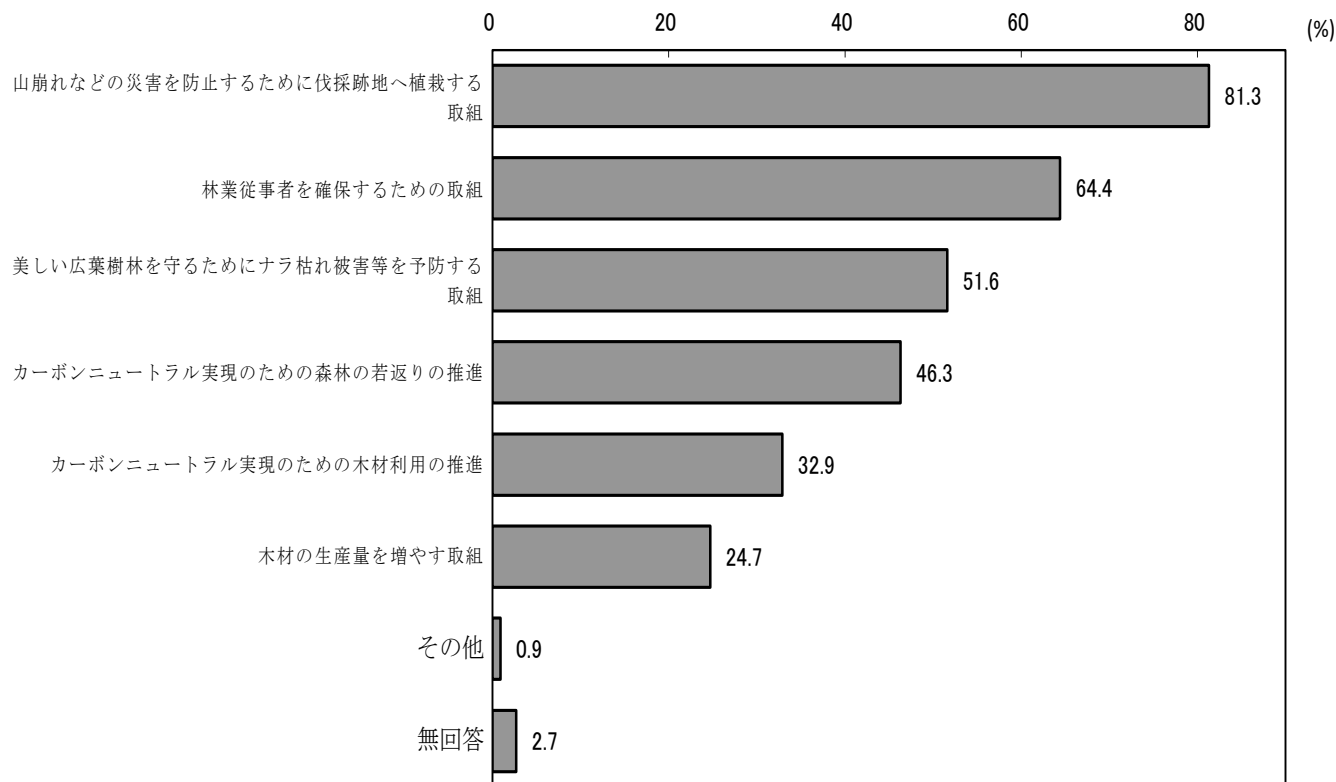


◆問2 今後、森づくり税を活用して、新たに取り組む必要があると考える項目をお答えください。  
(いくつでも選択可)

【県民】



【企業】



## 森づくりに関する自由意見

◆森づくり税の取り組みに関するご意見・ご要望がありましたら記載してください。(一部抜粋)

### ==伐採跡地への植栽に関すること==

- 伐採された後に植樹されたり手入れなどにかかる経費が必要と思います。高齢化にも人材が必要になります、少しでも若い人に参加していただき山の仕事を知っていただけたらいいかと思います。山の仕事は大変だと思います。気を付けて作業して下さい。(仙北地域／女性／60歳代以上)
- 伐採跡地への植栽を積極的に推進し、県内森林の若返りをはかるべき。(山本地域／農林水産業)
- 伐採跡地への植栽をもれなく推進していただきたい。(鹿角地域／製造業)

### ==林業従事者の確保に関すること==

- 林業従事者数の減少を思うととても不安になります。機械化補助にも力を入れてほしいです。(秋田地域／女性／60歳代以上)
- 林業従事者の減少が一番心配なので増すために頑張りたいと思います。(秋田地域／女性／60歳代以上)
- お金の使い道をしばってほしい。人材確保と防災に使ってほしい。(由利地域／男性／20歳代)
- 取り急ぎ林業従事者の確保が大切だと思います。(山本地域／不動産業)
- 林業に係わる人を育成して下さい(仙北地域／農林水産業)

### ==野生動物出没に関すること==

- 野生動物が人里に侵入しない様な森林作りが必要と思う。今のままでは子供達が自然と関わりを持つ事は危険であると思う。(秋田地域／男性／50歳代)
- 里山の減少による被害が多くなっています。野生動物との共生をベースに森林のあるべき姿を模索実行して頂きたい。(秋田地域／不動産業)
- クマが人里に出ないように、実になる木を山に植えてください。(鹿角地域／製造業)

### ==その他==

- 木育だとか、景観対策だとか、憩いの場だとか、目先の事に税を使ってほしくない。「森林を健全に維持する」に重点的に税を使ってほしい。(秋田地域／男性／60歳代以上)
- イベントに無駄なお金を使わず、現に森林の保護のために予算をつけてほしい。(秋田地域／卸売・小売業)
- 森づくり整備のため、林道の確保、整備、改良が必要ではないのか！！(北秋田地域／建設業)

### ==森づくり税の認知度に関する意見==

- 「森づくり税」自体をこのアンケートがくるまで知りませんでした。全国的に異常気象による大雨などで土砂崩れの危険は周知されているので森づくり税に興味が高いと思います。もっと森づくり税や秋田県の森づくりの取り組みを周知してほしいです。(仙北地域／女性／20歳代)
- 森づくり税の取り組みがあることを周りで知っている人は誰もいませんでした。まずは、この取り組みがあることを県民に知ってもらう必要があると思います。自然豊かな秋田が大好きなのでこれからも自然あふれる秋田であってほしいと思います。(平鹿地域／女性／20歳代)
- 森づくり税についてあまり知りませんでした。今回のアンケート回答でよく理解出来ました。県民としてもう少し勉強しなければと反省しました。(秋田地域／卸売・小売業)
- どれも取り組みはすばらしいと思います。もっと成果報告や取り組みを知らせてほしいです。(雄勝地域／卸売・小売業)

# 「秋田県水と緑の森づくり税事業」における市町村意向調査

令和3年9月 県内25市町村を対象に実施

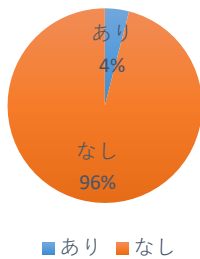
## 1. 現在、実施している事業について

### 1) 豊かな里山林整備事業

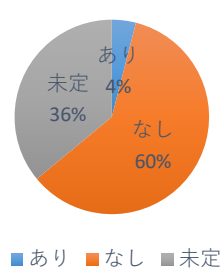
・針広混交林化事業

- ① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。
- ② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。
- ③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。

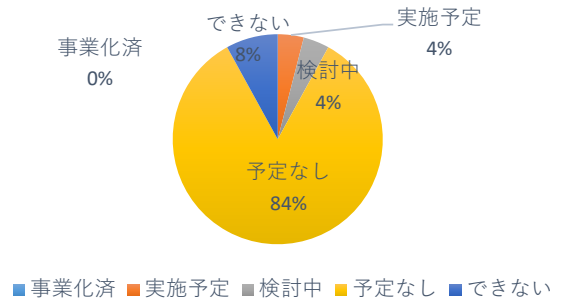
事業実施の有無(H30～R3)



事業実施の予定



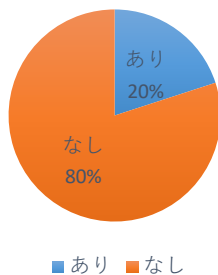
森林環境譲与税の活用



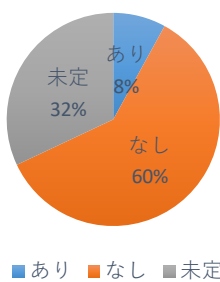
・広葉樹林再生事業

- ① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。
- ② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。
- ③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。

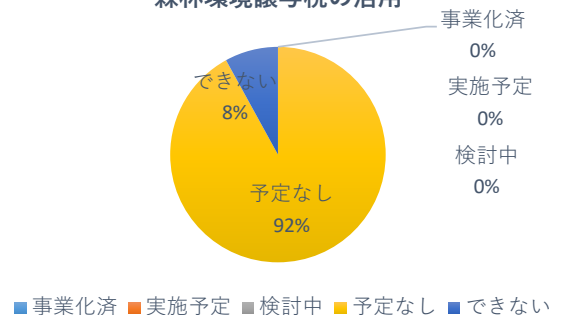
事業実施の有無 (H30～R3)



事業実施の予定



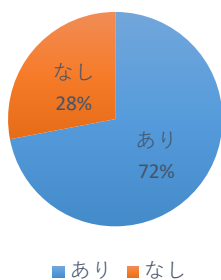
森林環境譲与税の活用



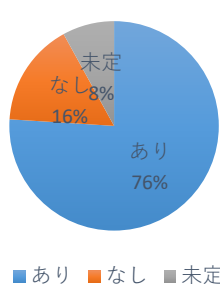
・緩衝帯整備事業

- ① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。
- ② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。
- ③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。

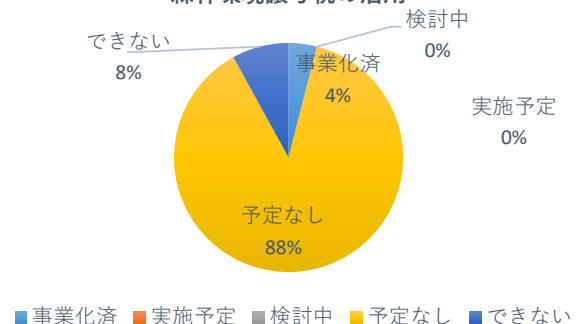
事業実施の有無 (H30～R3)



事業実施の予定



森林環境譲与税の活用



○ 豊かな里山林整備事業について、ご意見・ご要望等ありましたら記載してください。（一部抜粋）

◆秋田県水と緑の森づくり税事業で継続してほしい。☑

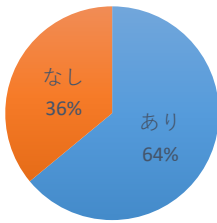
◆緩衝帯整備事業については事業ができた当初から毎年活用しているが、地域住民からの評判がよく、一定の効果ができていると考えられており、継続してほしい。☑

## 2) マツ林・ナラ林等景観向上事業

- ① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。
- ② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。
- ③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。

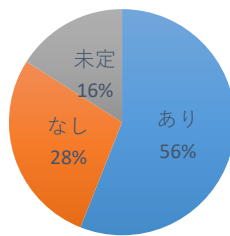
（マツ林）

事業実施の有無（H30～R3）



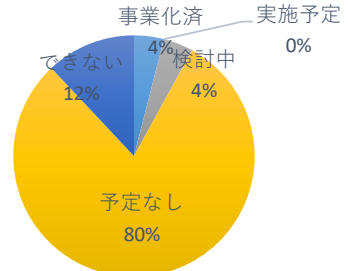
■あり ■なし

事業実施の予定



■あり ■なし ■未定

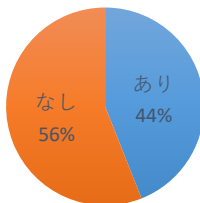
森林環境譲与税の活用



■事業化済 ■実施予定 ■検討中 ■予定なし ■できない

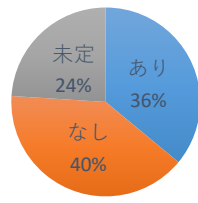
（ナラ林）

事業実施の有無（H30～R3）



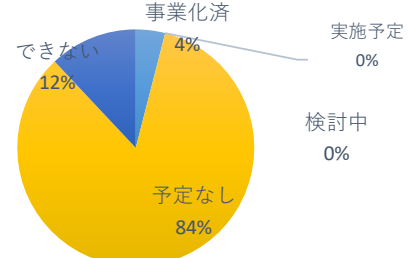
■あり ■なし

事業実施の予定



■あり ■なし ■未定

森林環境譲与税の活用



■事業化済 ■実施予定 ■検討中 ■予定なし ■できない

○ マツ林・ナラ林等景観向上事業について、ご意見・ご要望等ありましたら記載してください。

◆秋田県水と緑の森づくり税事業で継続してほしい。

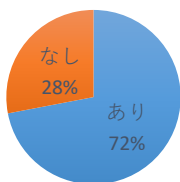
◆ナラの枯木は年々増加しており、景観に影響がでている箇所が多数ある。天然更新の促進と、倒木による被害の未然防止のためにも事業の継続をしてほしい。

## 3) 森や木とのふれあい空間整備事業

- ① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。（事業毎に○）
- ② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。（事業毎に○）
- ③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。（事業毎に○）

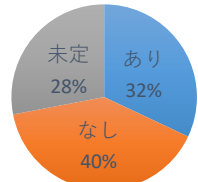
（ふれあいの森）

事業実施の有無（H30～R3）



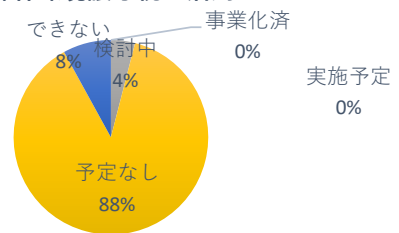
■あり ■なし

事業実施の予定



■あり ■なし ■未定

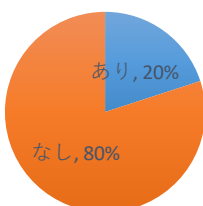
森林環境譲与税の活用



■事業化済 ■実施予定 ■検討中 ■予定なし ■できない

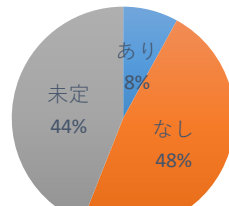
（木育空間整備）

事業実施の有無（H30～R3）



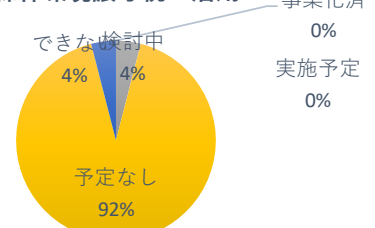
■あり ■なし

事業実施の予定



■あり ■なし ■未定

森林環境譲与税の活用



■事業化済 ■実施予定 ■検討中 ■予定なし ■できない

○ 森や木とのふれあい空間整備事業について、ご意見・ご要望等ありましたら記載してください。（一部抜粋）

◆秋田県水と緑の森づくり税事業で継続してほしい。木育空間整備事業の要件緩和（幼稚園・保育園・学童施設も対象に）

#### 4) 県民参加の森づくり事業

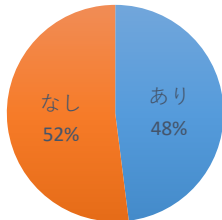
① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。（事業毎に○）

② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。（事業毎に○）

③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。（事業毎に○）

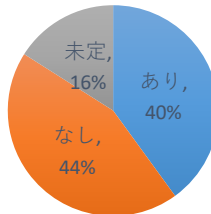
（市町村等の森づくり事業）

事業実施の有無（H30～R3）



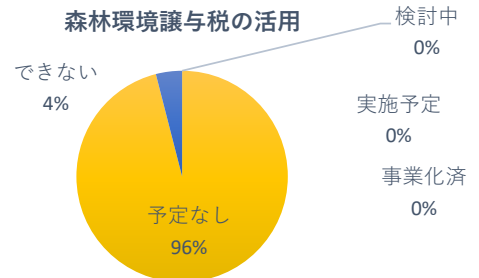
■あり ■なし

事業実施の予定



■あり ■なし ■未定

森林環境譲与税の活用



■事業化済 ■実施予定 ■検討中 ■予定なし ■できない

○ 市町村等の森づくり活動支援事業について、ご意見・ご要望等ありましたら記載してください。（一部抜粋）

◆秋田県水と緑の森づくり税事業で継続してほしい。

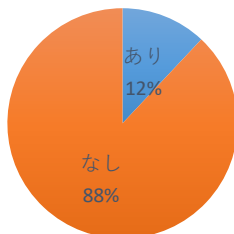
#### 5) 森林環境教育推進事業について

① 貴市町村は、これまで（H30～R3）に事業主体として次の事業を実施していますか。（事業毎に○）

② 貴市町村は、今後、次の事業を実施する予定がありますか。（事業毎に○）

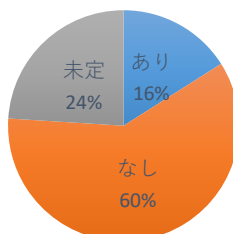
③ 貴市町村では、森林環境譲与税を活用し、次の事業を実施することを考えていますか。（事業毎に○）

事業実施の有無（H30～R3）



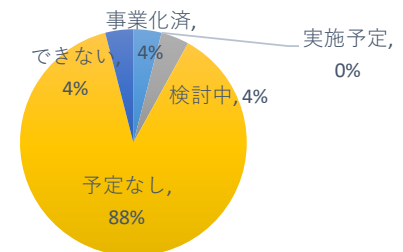
■あり ■なし

事業実施の予定



■あり ■なし ■未定

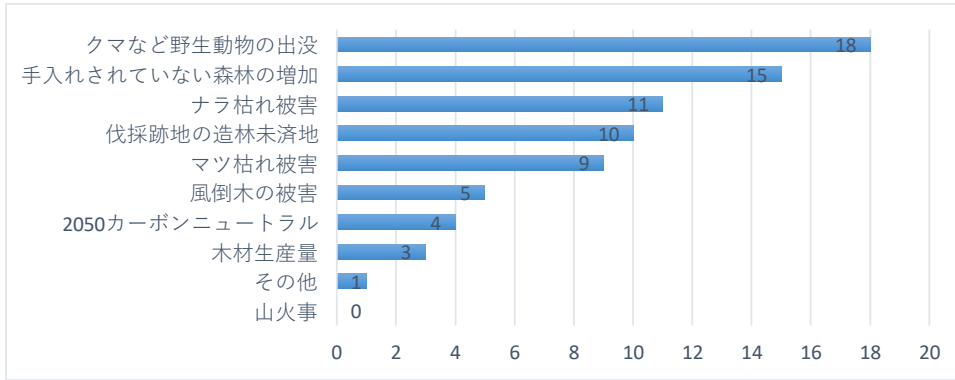
森林環境譲与税の活用



■事業化済 ■実施予定 ■検討中 ■予定なし ■できない

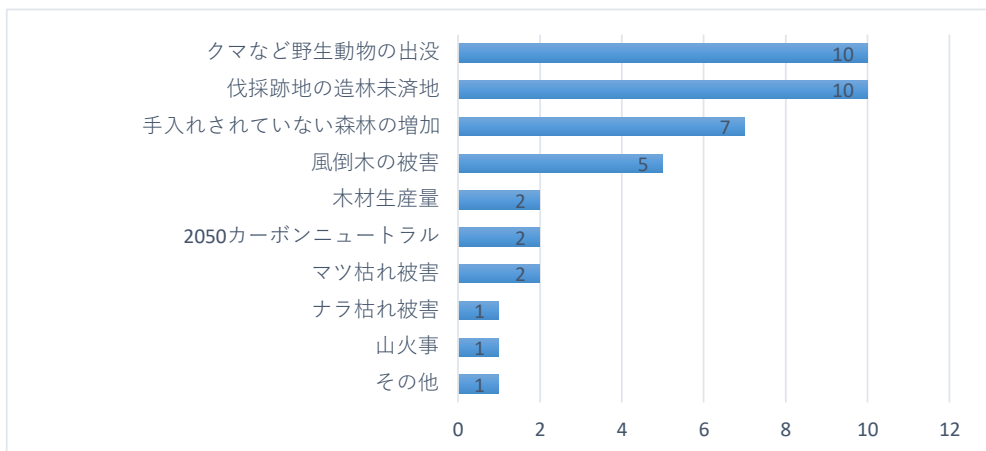
2. 森林・林業を取り巻く環境変化への対応について

1) 平成30年度以降の森林・林業の変化について、気になっていることはありますか。  
(〇はいくつでも)



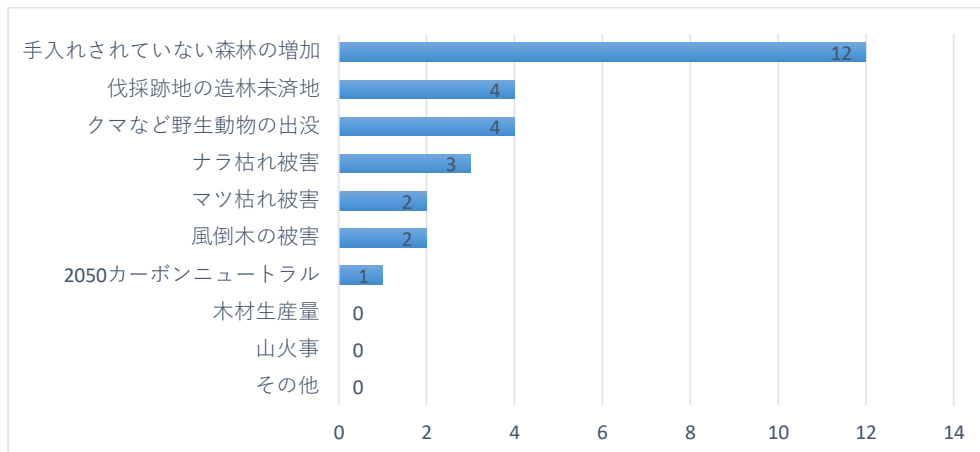
10. その他内容 (皆伐期を迎え、特に分収林・貸付地の保安林皆伐後の再造林の義務)

2) 上記のうち、森づくり税事業で新たに対応した方がいと思う事業はありますか。(〇はいくつでも)



10. その他内容 (皆伐期を迎え、特に分収林・貸付地の保安林皆伐後の再造林の義務)

3) 上記のうち、貴市町村が森林環境譲与税で対応している(した方がいと思う)事業はありますか。  
(〇はいくつでも)



#### 4) その他、森林や林業について貴市町村における課題等があれば記載してください。

◆高齢化もあって林業の担い手不足が進んでおり、森林や林業の普及啓発、スマート林業の推進等による林業労働者の負担軽減、収益性の向上など、多角的な取り組みにより状況の改善を目指さなければならないと感じています。

また、今年度はクマによる人身被害が発生しており、出沒件数が過去最多を上回るペースであったことから6月には「ツキノワグマ出沒警報」を発令したほか、これまで件数が少なかったイノシシの出沒や農作物被害も増加しているなど、鳥獣被害への対策が大きな課題となっています。

◆皆伐後の再造林については、山主の負担が多く、実施されない箇所が多いので、林業や地球環境の事を考え再造林が実施されやすいように補助率の増等、再造林に繋がる取り組みをお願いしたい。

◆少子高齢化の進行に伴い、整備の行き届かない森林が増加傾向にある。

また、町内の杉林の多くは標準伐期齢を迎えており、今後ますます皆伐が進んでいくことと思われるが、後継者の不在や経済的負担等の理由により植栽を行わずに天然更新とする事例が殆どであり、造林未済地の増加が危ぶまれる。

◆昭和40年代の政策で大量に造林したスギが伐期を迎えており、その活用について考えているところである。森林環境譲与税で森林経営の意向調査を行い、集積計画をたてているが、その先実際どのように施行するかまとまっていないので、事業があれば活用したい。

### 3. 次期5箇年計画（令和5年度～令和9年度）の策定について

次期5箇年計画の策定にあたり、ご意見・ご要望等があれば記載してください。

(一部抜粋)

◆柔軟に幅広く事業に対応できるような計画（予算）にしていきたいと思います。

◆民有林の造林公共事業（再造林・下刈）、財産区有林に対する（再造林・下刈）に対する高上補助。特に財産区有林は、皆伐期を迎え、分収林・貸付地の保安林皆伐後の再造林が義務となっているが、財源が逼迫している状況であるため税事業化をお願いしたい。☒

◆造林未済地の増加が危ぶまれているところであり、既存の補助金に加えて植栽や下刈、保育間伐等、造林に関する支援するメニューを新設していただければと思います。

◆緩衝帯等整備事業とナラ林景観向上事業は引続き要望したい箇所があるので、継続してほしい。☒

送付先 86団体 回答49団体（うち有効回答数48）

**森づくり税への要望（自由記載）**

■新しい取組等への要望

森林保全	伐採跡地や荒廃地などに植栽し、公益的機能の高い森林の育成を基本とした事業 公益的機能の高い森林の育成を基本とした事業 鉱山跡地に適している低木の植栽をサポートする制度 植樹や管理・保全など秋田の森林を未来へ引き継ぐ事業 15～20樹齢程度の広葉樹で下刈り、枝払い等の作業が対象の事業 樹種の範囲の拡大、熊対策 松食い虫の被害を防ぐ政策
人材育成	将来森を育てる人材の育成 将来の人材育成の一環として定期的な小学生の活動をする事
普及啓発	森づくり税の周知、活用 制度の柔軟な活用、制度の普及・啓発 森林・林業の振興に結び付く活動の紹介、デモ実践
その他の活動	キャンプなど個人的に「森を楽しむ」ことへのサポートによって県の森林が有効活用されるような政策 天候に左右されない野外活動できる施設の設立 カタクリ鑑賞会・どんぐり拾いなどの支援 若年層が木に親しめるようような活動 木材利用などのセミナー等の啓発活動を積極的に取り入れる
その他	現状の活動の維持

■事業実施にあたっての事務的な要望

<p>事業期間中に現地を見て実施内容の可否をしてもらいたい 林業のプロに委託する人件費の費目を設けること 事業を行う当日に森林整備課の方々にも参加してほしい 被害木が増えるに伴い伐採費も高くなっており、委託せざるを得ないので委託費を上げてほしい 会員が県内に散在しているため参加予定者50名以上は厳しい 活動を活性化させるにあたっての助言 同じような内容の事業でも参加者が異なれば継続して行っていきたい 書類作成のための若い人材を雇う経費がほしい ZOOMなどを用いた相互研修の企画</p>
---

■その他

<p>サポセンに取材してもらい励みになった。 森林組合等を活用してPR 熊の出没警報発令を全県ではなく、対象地域を工夫してほしい サポートセンターとの情報交換がしたい 有料ボランティアについての検討 森の案内人の認定養成講習会の開催</p>
--

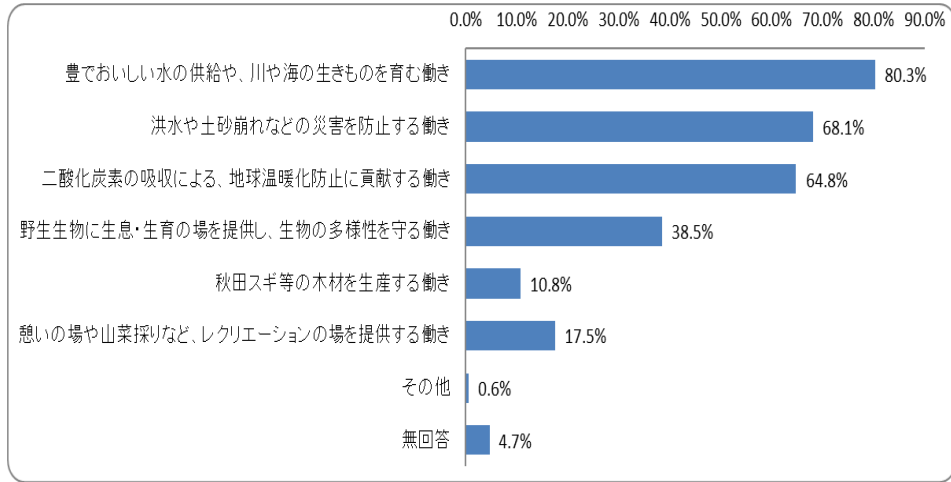


# アンケート調査の結果による県民意識の変化

○H23（2011）※第2期計画作成時

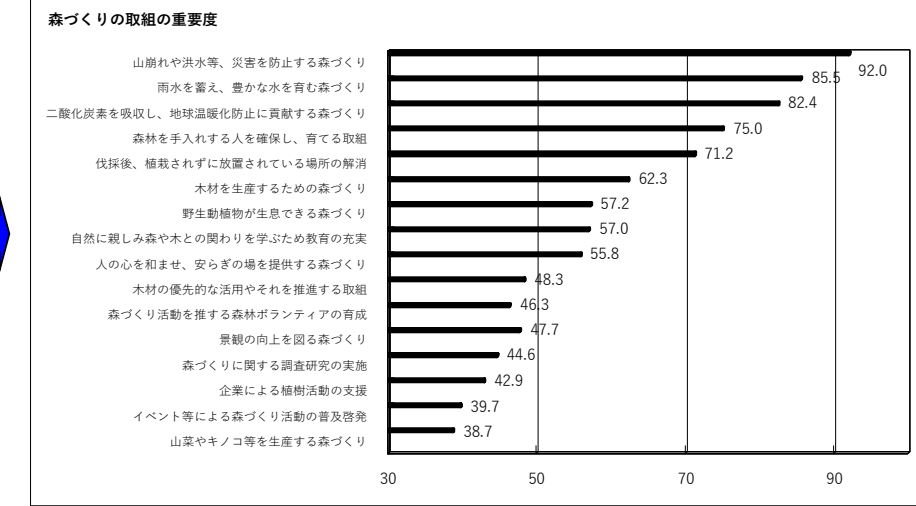
## 1 森林の機能（働き）に関する重要度の変化

### ◇森林の多面的機能の重要度



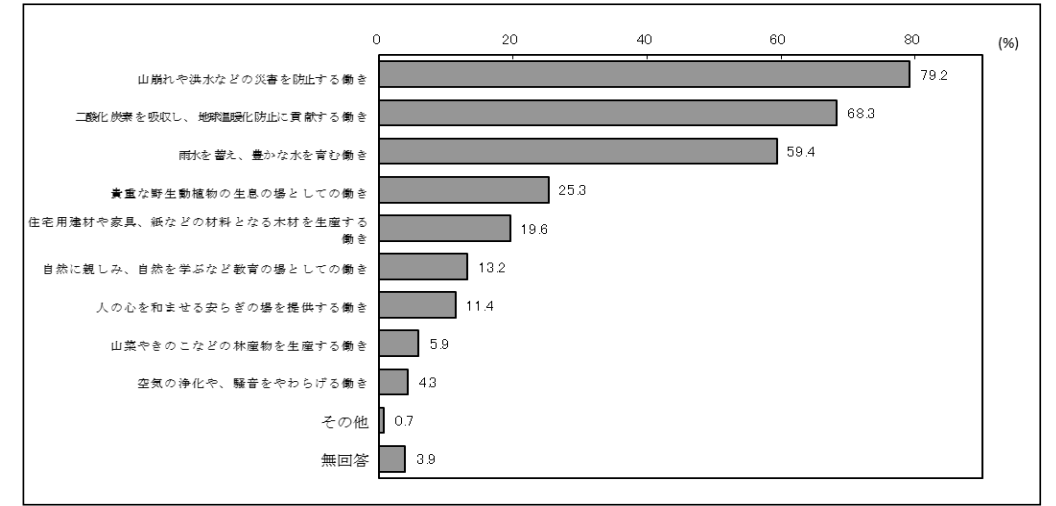
○H28（2016）※第3期計画作成時

### ◇森づくり全体の取組の重要度



○R3（2021）※第4期計画作成時

### ◇重要だと思う森林の働き

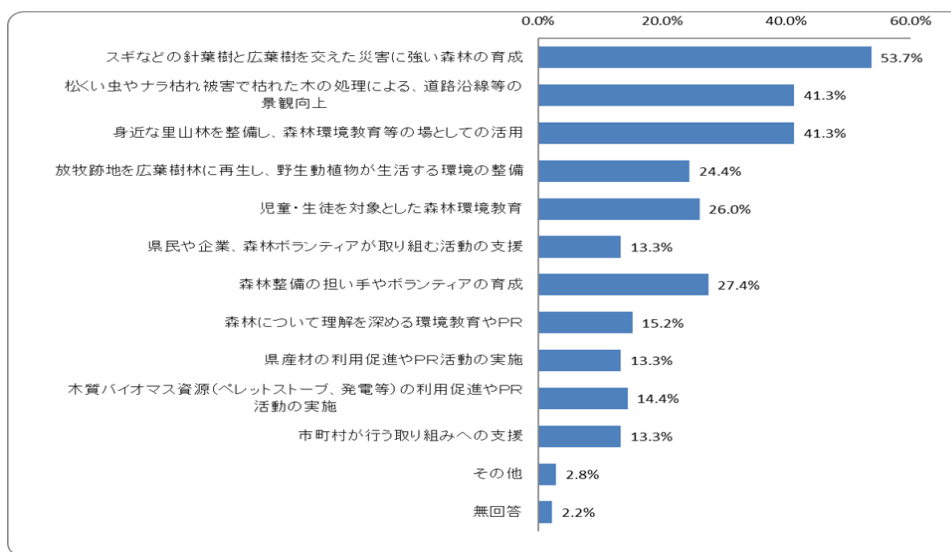


- 雨水を蓄え、豊かな水を育む森づくり（1位→2位→3位）
- 山崩れや洪水等災害を防止する森づくり（2位→1位→1位）
- 二酸化炭素を吸収し、地球温暖化防止に貢献する森づくり（3位→3位→2位）

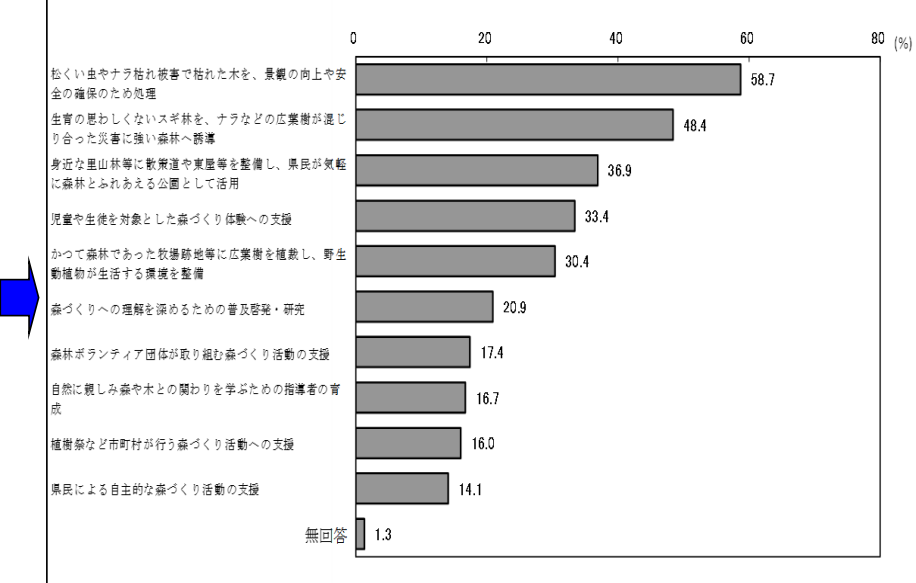
3項目は常に重要度が高い。

## 2 森づくり税の取組（優先度）に関する重要度の変化

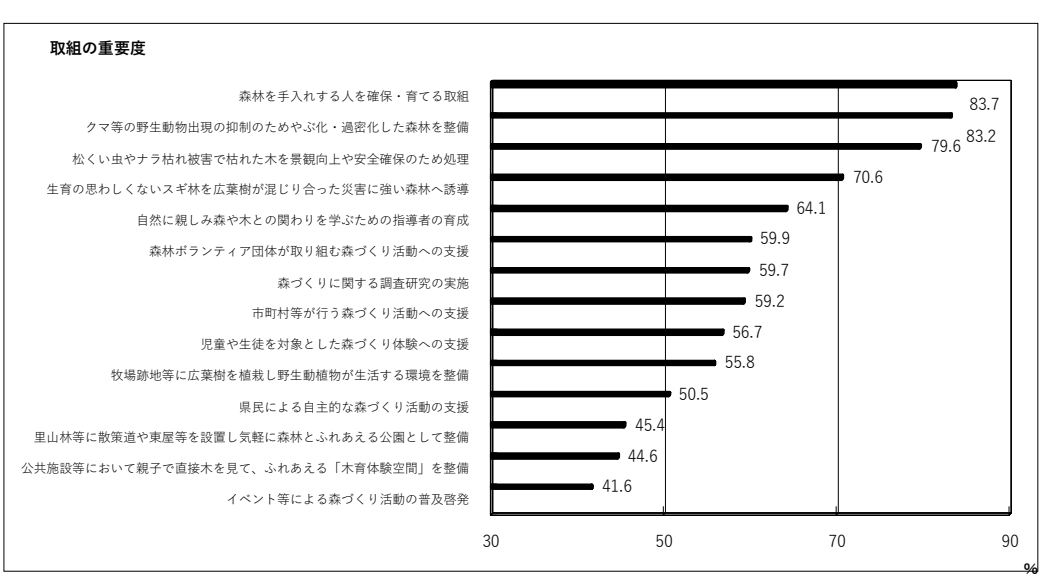
### ◇税の使途の優先度について



### ◇税の活用で大切な取組について



### ◇税の取組の重要度について



- ・松くい、ナラ枯れの被害木対策（2位→1位→3位）や災害に強い森林への誘導（1位→2位→4位）は優先度（重要度）が変わらず高い。
- ・平成23年の調査からの変化として、「森林を手入れする人材の確保」や「クマ等野生動物の出現抑制」の重要度が高くなっている。